

平成27年度ひろしま神楽団中南米公演事業
ブラジル・メキシコ

報告書



平成27年10月19日(月)～10月29日(木)

平成27年度ひろしま神楽団中南米公演 実施報告書

NPO法人広島神楽芸術研究所

広島県 JAPAN FOUNDATION 

もくじ

開催概要	1P
ひろしま神楽団 派遣団員紹介	2P

【写真で振り返る中南米公演】

本番までのスケジュール、結団式	3P
合同練習	4P
広島県庁に表敬訪問	7P
荷造り	8P
ひろしま神楽団中南米公演 行程表	9P
10月19日(月) 広島からメキシコへ	10P
10月20日(火) 会場設営～リハーサル	11P
10月21日(水) 神楽公演一日目	12P
10月22日(木) 神楽公演二日目	14P
メキシコ公演 印刷物紹介	16P
メキシコ公演 取り上げられたメディアの紹介	18P
10月23日(金) メキシコからブラジルへ	19P
10月24日(土) ブラジルに到着・ブラジル神楽保存会主催の歓迎会	20P
10月25日(日) 神楽公演三日目	21P
ブラジル公演 印刷物紹介	23P
ブラジル公演 取り上げられたメディアの紹介	24P
ブラジル神楽保存会主催の打ち上げ	25P
10月26日(月) 大志万学園訪問	26P
帰国準備～打ち上げ	27P
10月27日・28日(火・水) ブラジルから広島へ	29P
10月29日(木) 帰広	30P

日本国内で取り上げられたメディアの紹介	31P
礼状紹介	32P

開催概要

- 事業名 平成27年度ひろしま神楽団中南米公演
- 日時 平成27年10月19日(月)～29日(木)
- メキシコ公演 グアナファト州で開催された第43回セルバンテシーノ国際芸術祭から招待を受け神楽公演を実施
会場:10月21日(水)・・・プリンシパル劇場
10月22日(木)・・・ビセンテナリオ劇場
- ブラジル公演 サンパウロ市で開催されたブラジル広島文化センター創立60周年記念式典事業の一環として神楽公演を実施
同市の日系学校を訪問し、交流会を実施
会場:10月25日(日)・・・ブラジル日本文化福祉協会(文協大講堂)
10月26日(月)・・・大志万学園
- 助成 広島県、独立行政法人国際交流基金
- 協賛 全日本空輸株式会社、マツダ株式会社、マツダロジスティックス株式会社、株式会社メンテックワールド、リョービ株式会社、株式会社ワイテック株式会社キーレックス、西川ゴム工業株式会社、広島アルミニウム工業株式会社株式会社ヒロテック、ダイキョーニシカワ株式会社、カワダ株式会社株式会社フジタ、広島市信用組合、株式会社にしき堂、株式会社大創産業(16社 順不同 敬称略)
- 協力 広島広域都市圏協議会”神楽”まち起こし協議会、安芸高田神楽協議会北広島町神楽協議会、広島市神楽振興連絡協議会NPO法人手をつなぐメキシコと日本、ブラジル広島県人会(ブラジル広島文化センター)、ブラジル神楽保存会、安芸高田市、北広島町
- 参加団体 広島県内の神楽団10団体から17名の団員が参加(詳細は次頁参照)
【安芸高田市】原田神楽団、桑田天使神楽団、上河内神楽団、吉田神楽団
【北広島町】琴庄神楽団、小枝神楽団
【広島市】宮乃木神楽団、あさひが丘神楽団、鈴張神楽団、亀山神楽団

ひろしま神楽団 派遣団員



団長:林 秀樹
(広島神楽芸術研究所理事長)



顧問:塚本 近
(原田神楽団)



副団長:崎内 俊宏
(琴庄神楽団)



副団長:管沢 秀巳
(宮乃木神楽団)



沼田 真路
(小枝神楽団)



松田 祐生
(桑田天使神楽団)



戸田 邦昭
(上河内神楽団)



菊本 靖彦
(琴庄神楽団)



岡本 充行
(吉田神楽団)



栗栖 和昭
(琴庄神楽団)



泉 竹千代
(桑田天使神楽団)



小田 徹也
(あさひが丘神楽団)



竹迫 正棋
(鈴張神楽団)



藤本 靖浩
(あさひが丘神楽団)



田村 和也
(宮乃木神楽団)



下河内 貴文
(亀山神楽団)



松長 将一
(原田神楽団)



大田 拓我
(亀山神楽団)

スタッフ紹介

事務局:増田 恵二(広島神楽芸術研究所)
制作:砂田 充教(RCC文化センター)
音響:横山 茂美(HOCミュージックグループ)
照明:寺岡 憲次郎(コネクトライン)
記録:久保 泰彦(RCC文化センター)
デザイン:高橋 道夫、多葉村 裕夏(第一美術印刷)
スペイン語通訳・翻訳:横尾 咲子(手をつなぐメキシコと日本)
ポルトガル語通訳・翻訳:橘 愛子(ブラジル神楽保存会)
広島県文化芸術課:江原達、松岡朋生、平澤美佐
添乗員:田中弘美(JTB中国四国広島支店)

写真で振り返る中南米公演

本番までのスケジュール

4

S	M	T	W	T	F	S
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

4/24 結団式:千代田中央公民館

5

S	M	T	W	T	F	S
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5/14 合同練習:千代田開発センター
5/21 合同練習:道の駅「響」ステージ
5/28 合同練習:千代田開発センター

6

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

6/4 合同練習:千代田開発センター
6/11 合同練習:千代田開発センター
6/18 合同練習:千代田開発センター
6/25 合同練習:千代田開発センター

7

S	M	T	W	T	F	S
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

7/2 合同練習:千代田開発センター
7/9 懇親会
7/16 合同練習:道の駅「響」ステージ(台風中止)
7/30 合同練習:千代田開発センター

8

S	M	T	W	T	F	S
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

8/6 合同練習:千代田開発センター
8/20 合同練習:千代田開発センター
8/27 合同練習:千代田開発センター

9

S	M	T	W	T	F	S
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

9/3 合同練習:千代田開発センター
9/10 合同練習:千代田開発センター
9/17 合同練習:千代田開発センター
9/24 合同練習:千代田開発センター
衣裳を付けて通しハーサル
紅葉狩〜八岐大蛇

10

S	M	T	W	T	F	S
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

10/1 渡航説明会
合同練習:道の駅「響」ステージ
10/5 県知事・県議会副議長訪問
10/8 合同練習:道の駅「響」ステージ
10/13 最終打合せ:道の駅「響」ステージ
荷物を全て持参し
スーツケース等に荷詰め作業

※合同練習は20:00〜22:00

4月24日(金曜日)北広島町千代田中央公民館で結団式



広島神楽芸術研究所 林秀樹理事長の挨拶



広島県県民生活部 坂井浩明部長の挨拶



場所を移して懇親会



この日初めて会う人も…まだまだ表情は硬い…

合同練習

5月14日(木曜日)からいよいよ練習です。

限られた時間の中、海外のお客様に感動して頂くため、様々な議論を重ね、まずは「紅葉狩」を中心に練習をしました。

7月30日はパンフレット掲載の写真撮影のため、全ての衣装を付けて、本番さながらの練習を行いました。

8月に入ると「八岐大蛇」も本格的に練習を始めました。

5月14日



初練習では様々な思いが交錯しました

5月28日



まだまだ探り探り

7月2日



この日から八岐大蛇の練習も始めました

7月9日



下見を終えたスタッフからの報告会を兼ねて懇親会

7月30日



写真撮影のため本番同様に化粧もしました

7月30日



手蜘蛛などの小道具も使用しました

7月30日



紅葉狩はほぼ完成

7月30日



1度しか合わせていない八岐大蛇は
たくさんの課題が見つかりました

8月6日



休みのはずでしたが、団員で話し合い急遽練習に!!

8月27日



メキシコでお世話になる横尾さんが来広され
本番同様、衣装を着て練習しました

7月30日



衣装を着てみて分かることがたくさんあり
収穫の多い練習となりました

7月30日



パンフレットなどのメインビジュアルに採用した写真
足や背中が見えているのはご愛敬

8月20日



八岐大蛇も完成間近

8月27日



このころには八岐大蛇も流れが出来ました

合同練習

9月に入り練習は細かい修正がメインに。
9月24日の通し稽古では、衣装を着て本番同様に
紅葉狩、八岐大蛇の順で練習をしました。

9月9日



残す練習もあとわずかとなり細かい動きを確認

9月17日



どうすれば喜んでもらえるのか？
様々な議論が最後まで行われました

9月24日



裏方も含め最終確認

9月24日



口上にも力が入り、いよいよという雰囲気

9月24日



大蛇の息もびったり！

9月24日



練習後、林理事長、崎内副団長からのお話
「舞いを合わせるには心を合わせること」
というお話が印象的でした

10月5日(月曜日)広島県庁に表敬訪問

メキシコで開催される国際食フェスティバルに参加されるシェフの方々と
湯崎英彦広島県知事、佐々木弘司広島県議会副議長を表敬訪問。
激励の言葉をいただきました。



知事に本事業の説明をする林理事長



知事から激励の言葉を受ける団員



記念撮影



シェフの方々も一緒に記念撮影
知事に衣装を着て頂きました



副議長に本事業の説明をする林理事長



副議長から激励の言葉を受ける団員

10月13日(火曜日)荷造り

一足先に航空便で送った大太鼓以外の荷物をスーツケースと蛇胴に入れ、
合計23個の荷物を成田空港に発送しました。



9月11日(金曜日)に発送した大太鼓
二週間後、無事に届いたと連絡がありました



空のスーツケースがズラッと並びます



蛇頭もスーツケースに入れました



大切な衣装をスーツケースに入れるのは心が痛みます



蛇胴の中には神楽幕や刀を入れ
荷物は蛇胴が8個、スーツケースが15個にもなりました



この日が出発前に集まる最後の日
10月19日の出発について打ち合わせ

ひろしま神楽団中南米公演 行程表

下記のスケジュールで公演を行います。7泊11日の長い長い旅の始まりです。

日次	月日(曜)	現地時刻	行程	宿泊先
1 日	10月19日(月) メキシコ・レオンに向けて出発	10:00 12:30 14:15 15:55 17:05	貸切りバス→広島空港へ 広島空港にて出発式 空路:成田空港へ(NH3114) 成田空港着 空路:ロサンゼルス空港へ(NH006) (日付変更線通過)	ホテルメキシコプラザ
2 日	10月20日(火) 神楽公演リハーサル (プリンシパル劇場)	10:00 13:00 17:00	スタッフ会場入り→舞台設営 神楽団員会場入り→リハーサル リハーサル終了後ホテルへ	ホテルメキシコプラザ
3 日	10月21日(水) 神楽公演本番 (プリンシパル劇場)	11:00 14:00 17:30 18:00	スタッフ・団員入り リハーサル 開場 開演「紅葉狩」「八岐大蛇」	ホテルメキシコプラザ
4 日	10月22日(木) 神楽公演本番 (ピセンテナリオ劇場)	10:00 11:00 18:30 19:00	スタッフ会場入り→舞台設営 神楽団員会場入り 開場 開演「紅葉狩」「八岐大蛇」 終演後、神楽衣装整理搬送 セルバンティエーノ国際食フェスティバルに出席	ホテルメキシコプラザ
5 日	10月23日(金) ブラジル・サンパウロに向け移動	9:00 12:12 14:30 16:27 21:20	専用車→レオン空港へ 空路:ヒューストン空港へ(UA4182)※第一班 空路:ヒューストン空港へ(UA5582)※第二班 ヒューストン空港着(乗り継ぎ) 空路:サンパウロ空港へ(UA021)	機内泊
6 日	10月24日(土) ブラジル・サンパウロに到着	10:00 15:30 18:00	サンパウロ空港着→貸し切りバス→ホテルへ 会場下見～移民資料館見学 ブラジル神楽保存会主催の歓迎会に出席	マツバラホテル
7 日	10月25日(日) 神楽公演本番 (文教大講堂)	8:30 10:00 14:30 15:00	貸し切りバス→会場入 ブラジル広島文化センター創立60周年記念式典出席 開場 開演「紅葉狩」「恵比寿」「八岐大蛇」 終演後、ブラジル神楽保存会主催の打ち上げに出席	マツバラホテル
8 日	10月26日(月) 大志万学園訪問	10:30 14:00 18:00	会場下見 学生向け「八岐大蛇」上演 終演後ホテルにて神楽衣装の整理 全体打ち上げ	マツバラホテル
9 日	10月27日(火) ブラジル観光～広島へ向け出発	11:00 18:00 22:30	貸し切りバス→市内見学(サンパウロ美術館、サッカーミュージアム) サンパウロ空港着→出国準備 空路:ヒューストン空港へ(UA978)	機内泊
10 日	10月28日(水)	05:25 11:20	ヒューストン空港着(乗り継ぎ) 空路:成田空港へ(NH173) (日付変更線通過)	機内泊
11 日	10月29日(木) 帰広	15:20 17:25 19:05 19:30	成田空港着 空路:広島空港へ(NH3111) 広島空港着 解散式 貸し切りバス→自宅へ	

10月19日(月曜日)広島からメキシコへ

安芸高田市役所美土里支所～道の駅「舞」ロードIC千代田～
かぐらや～広島空港～成田空港～ロサンゼルス空港～レオン空港～ホテル
およそ24時間の長旅です。



バスで出発
道の駅「舞」ロードIC千代田にて



広島空港で出発式



ロサンゼルス空港
まだまだみんな元気です



神楽の衣装がロサンゼルス空港に置き去りにされ、
届かないという大トラブルが発生!



メキシコのホテルに到着しました



しかし、全員無事に到着し安堵の乾杯

10月20日(火曜日)会場設営～リハーサル

スタッフは朝から会場のプリンシパル劇場に設営に入りました。
団員は昼食後、標高1800メートルの高地に慣れるため、
時差ボケで辛い中、リハーサルを行いました。



現地のスタッフと設営
言葉は通じませんが、身振り手振りで設営



リハーサル「紅葉狩」



リハーサル「八岐大蛇」



標高1800メートルの高地での公演のため
劇場には専属の医療スタッフが待機
安心して本番に挑むことが出来ました



会場のプリンシパル劇場



ホール屋上からの風景
街全体が世界遺産、素晴らしい街並みでした



劇場スタッフは最後まで
親切にしてくれました

10月21日(水曜日)神楽公演一日目

セルバンティーノ国際芸術祭

会場: プリンシパル劇場 / 開場: 17:30 / 開演: 18:00

入場者数: 450名(チケット完売)



たくさんの取材陣を前にリハーサル
本番の体力が心配になるほどの熱演でした



口上は舞台の上に字幕を出して対応



化粧もバッチリ



全員で円陣を組んでいざ本番



マルケス州知事からは歓迎の挨拶を頂き
知事から広島への紹介をして頂きました



林理事長から神楽の解説

〈第一幕 紅葉狩〉



〈第二幕 八岐大蛇〉



終演後のスタンディングオベーションは
今までにない感動がありました



マルケス州知事より表彰を受けました



初日が無事に終わり一安心



セルバンティーノ国際芸術祭実行委員会からの参加賞(左)
グアナファト州からの記念品(右)

10月22日(木曜日)神楽公演二日目

セルバンティーノ国際芸術祭

会場:ピセンテナリオ劇場／開場:18:30／開演:19:00

入場者数:1200名(チケット完売)



会場はメキシコ最大級のオペラハウス



舞台からの眺めも素晴らしい



スタッフは団員より先に現場に入り設営
言葉の壁はありますが、日本語で伝えると不思議と伝わります



前日の反省点を確認



八岐大蛇も入念に打ち合わせ



本番直前の舞台裏の様子



スタンディングオベーションに
感動で涙を流す団員も多く見られました



メキシコでの2公演は無事に終了
同時開催の国際食フェスティバルに招かれ
久々の日本食を堪能しました

メキシコ公演 印刷物紹介

セルバンティーノ国際芸術祭公式プログラム (A4/全144ページ) と
公式日程表 (小冊子/全48ページ)



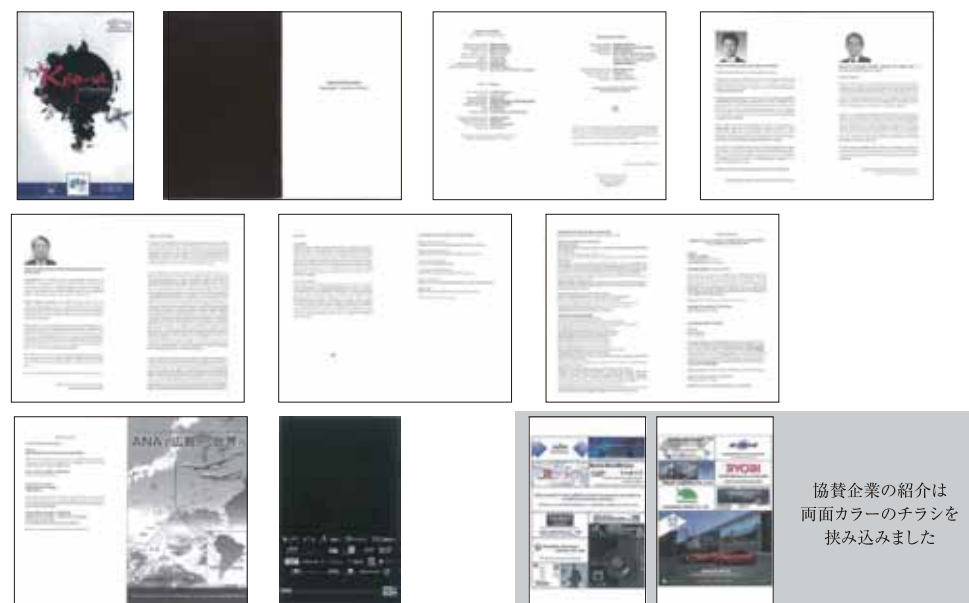
10月21日 公演パンフレット (小冊子/全16ページ)
※セルバンティーノ国際芸術祭実行委員会が制作



10月21日 公演パンフレット (A4/全16ページ)
※日本国内でデータを制作し、現地で印刷



10月22日 公演パンフレット (小冊子/全16ページ+協賛企業紹介チラシ)
※ビセンテナリオ劇場が制作



メキシコ公演 取り上げられたメディアの紹介

公演には多数のメディア(テレビ、新聞、雑誌など)から取材を受けました。
WEBにもたくさんの動画や記事が掲載されています。
※事務局で把握しているものを紹介します。

■新聞



■テレビ局



NOTIMEX ノティメックス



11Noticias オンセ ノティシアス



Canal22 カナル ベインティドス

10月23日(金曜日) メキシコからブラジルへ

メキシコでの公演を無事に終えブラジル・サンパウロへと向かいました。
ホテル〜レオン空港〜ヒューストン空港〜(翌朝)サンパウロ空港〜ホテル



通訳などでお世話になった横尾さんともお別れ



レオン空港までビセンテナリオ劇場のスタッフに荷物を運んで頂きました



荷物のトラブルを防ぐため、二班に分かれてヒューストン空港へ荷物が無事に飛行機に積まれるのを確認し、ひと安心



ヒューストン空港では団員もグッタリいよいよブラジルへ向けて飛び立ちます



出発前ホテルで記念撮影

10月24日(土曜日)ブラジルに到着・ブラジル神楽保存会主催の歓迎会に出席

ヒューストンから空路で10時間、サンパウロ空港に到着しました。
 (メキシコのホテルを出発しておよそ24時間後)
 ホテルにチェックインした後、ブラジル日本移民資料館を見学しました。
 夕方にはブラジル神楽保存会の皆さんに歓迎会を開いていただきました。



入国後ブゼラの音が響き渡り
「広島！広島！」の大合唱



ブラジル神楽保存会の皆さんの
熱烈な歓迎に移動の疲れも吹き飛びました



ブラジル神楽保存会の道管武保会長による乾杯の挨拶



美味しい日本食をご馳走になったお礼に
八岐大蛇の舞の一部を披露しました



ブラジル神楽保存会の八岐大蛇を見せて頂きました



大蛇の演技指導を行い、交流を深めました
地球の裏側で同じ文化を受け継ぐ人たちに
団員一同、驚きと感動に包まれました

10月25日(日曜日)神楽公演三日目

ブラジル広島文化センター創立60周年記念式典
 会場：ブラジル日本文化福祉協会(文協大講堂)／開場：14:30／開演：15:00
 入場者数：1000名(整理券全て配布)



公演前に執りおこなわれた
ブラジル広島文化センター創立60周年記念式典



開演前には長蛇の列が出来ていました



式典終了後、公演に向けて準備を行いました
舞台もこの間に転換し、今回は天蓋も制作



段ボール製の酒樽は最後まで壊れずにすみしました



湯崎広島県知事の挨拶



林理事長の挨拶

〈第一幕 紅葉狩〉



裏方との呼吸もドライアイスもバッチリ

〈第二幕 恵比寿〉



第二幕はブラジル神楽保存会の「恵比寿」

〈第三幕 八岐大蛇〉



最後の演目に自然と力が入りました



笛はひろしま神楽団からの助っ人



終演後の挨拶



観客は総立ちで讃えてくれました



終演後の撮影会は大混雑



湯崎知事が楽屋訪問してくださいました

ブラジル公演 印刷物紹介

公演チラシ(A5)/チケット/公演ポスター(A3)
※日本国内でデータを制作し、現地で印刷



パンフレット(A4/全16ページ)
※日本国内でデータを制作し、現地で印刷



ブラジル公演 取り上げられたメディアの紹介

公演には多数のメディア（テレビ、新聞、雑誌など）から取材を受けました。

WEBにもたくさんの動画や記事が掲載されています。

※事務局で把握しているものを紹介します。

■新聞



■テレビ局



ラジオ＆TVニッケイ

公演後、ブラジル神楽保存会の方々に打ち上げを開いて頂きました



林理事長から保存会の方々に礼の挨拶



公演で使用した衣装や小道具をプレゼント



ブラジル広島文化センター平崎靖之会長より礼の挨拶



最後はみんなでブラジルダンス



記念撮影

10月26日(月曜日) 大志万学園訪問

日系学校の大志万学園を訪問し、八岐大蛇のパフォーマンスを行いました。
300名の生徒が広島県の伝統文化に触れ、楽しんでいただきました。



1952年に日本語学校として創立
1歳～中学3年生までの320人が学んでいます



林理事長の挨拶



狭い舞台でしたが、八頭の大蛇を出しました



あまりの迫力に泣いてしまう子も



質問コーナーではたくさんの質問がありましたが
中でも笛の事が一番気になったようです



生徒たちと記念撮影

帰国準備～打ち上げ

学園訪問後、神楽衣装の整理を行い帰国の準備をしました。
全ての公式行事を終えたひろしま神楽団はブラジル神楽保存会の方々をお招きし、
ささやかな打ち上げを行いました。



大切な荷物を丁寧に梱包します



保存会から頂いた手作りの旗に全員が名前を書き残しました



広島県江原文化芸術課長の挨拶



林理事長の挨拶



通訳などでお世話になった、橘愛子さんの挨拶



崎内副団長の乾杯の挨拶



みんなの思いがこもった旗を贈りました



管沢副団長より公演で使した刀をプレゼント



琴庄神楽団さんから大蛇の蛇胴と蛇頭を
ブラジル神楽保存会にプレゼントされました



3人の団員から贈呈



大切に使うと約束してくれました

10月27日～28日(火・水曜日) ブラジルから広島へ

いよいよ日本へ帰国の日。

飛行機が夜の便のため、それまでの時間は市内観光を行いました。

サンパウロ美術館～パカエンブスタジアム(サッカーミュージアム)～

サンパウロ空港～ヒューストン空港



バンデiras記念像



サンパウロ美術館



パカエンブスタジアム



ブラジル最後の食事はブラジル料理・シュラスコ



大量の荷物とともに帰国の途へ



ブラジル神楽保存会の皆さんが
見送りに来ていただきました

10月29日(木曜日) 帰広

ヒューストン空港～成田空港～広島空港～自宅
サンパウロのホテルを出てから50時間をかけて帰国しました。



11日間の行程を終え、無事日本に帰ってきました
成田空港にて



広島空港で解散式を行いました



林理事長の挨拶



崎内副団長の挨拶



全員で記念撮影
神楽団員の皆さん、スタッフの皆さん、この公演に関わっていただいた全ての皆さん
お疲れ様でした。そして、ありがとうございます

日本国内で取り上げられたメディアの紹介

公演には中国放送のカメラが同行し、番組で特集が組まれました。
その他には中国新聞などで記事が掲載されました。
※事務局で把握しているものを紹介します。

■RCCテレビ

10月19日(月) 「ニュース6」



10月27日(火曜日) 「ニュース6」



11月25日(水曜日) 「イマなま」(およそ15分の特集)



■中国新聞 10月7日(水曜日)



10月23日(金曜日)



ブラジルよりお礼のお手紙を頂きました

ブラジル広島文化センター
平崎靖之会長より



ブラジル神楽保存会
道菅武保会長より



本事業を終えて

本事業は、平成27年10月19日から29日までの11日間、メキシコ・グアナフアト州との友好提携及びブラジル・サンパウロ州で開催されたブラジル広島文化センター創立60周年記念式典に際し、広島県の観光資源として大きくクローズアップされている「広島神楽」の公演を行い、広島県の魅力発信及び知名度向上を図るとともに、広島神楽の芸術水準の向上を目的に実施したものです。

今回の公演は、神楽界初の試みとして広島県内の神楽団の皆様に参加を呼びかけ、広範囲の合同チームを結成し最終的に10の神楽団、総勢17名で実現したものです。

私たちは、2003年ロシア・サンクトペテルブルク建都300周年記念事業や、2012年日中国交正常化40周年事業の経験をもまえ、県内のそれぞれ異なる歴史・環境を持つ神楽団の交流と団結を図るとともに、広島からプロの音響・照明・舞台スタッフを現地に派遣し、広島の感動的な舞台芸術・神楽を世界の舞台へ送り出そうとしたものです。

本年4月の初会合以来、毎週木曜日の夜の合同練習は20回を越えています。ご参加頂いた団員の皆様には、大変なご苦勞をお願いした事と改めて痛感し、深く感謝申し上げます。

団員が所属する事業所の皆様をはじめ、各協議会、その他関係者の方々にこの事業へのご理解とご支援をいただいたことにより、公演が大成功を収めたことをここに報告いたします。

最後になりましたが、本事業にご協賛をいただきました企業の皆様をはじめ、ご協力頂いた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

2015年12月
特定非営利活動法人 広島神楽芸術研究所
理事長 林 秀樹